

特集I

感動体験を支える連携・協働

新しい公共型の施設運営における事業改善を目指して

笑顔、真剣な顔、苦しさに耐えて頑張っている顔、そして笑顔

苦しさに耐え仲間と共に登りきった登山、いくつもの滝を越え川の始まりを確かめにいく源流探検、深い雪の森の中を歩くスノーシューハイク、火をコントロールして仲間と一緒に作る野外炊事。自然体験活動は、子どもたちに感動をもたらしく、大きな自信を与えてくれます。

そして、集団宿泊体験。仲間と共に過ごす自然の中の生活は、共に支えあったり、時には意見がぶつかりあって折り合いをつけたりと、人間関係を学ぶ貴重な体験です。

子どもたちは、このような探究心や人とかかわる力、苦しさに耐えて頑張る力などをもともと持っています。しかし、おかれた環境や大人のかかわり方によって、それらの力が、大きく発揮できたり、逆に発揮できなかったりします。

私たちは、感動体験を通して、子どもたちのいろいろな力を引き出し、自己肯定感を高め、笑顔いっぱいになるように支援していきます。

このような感動体験を支えている「指導者・ボランティア」や「プログラム」「支援のあり方」「活動環境」「予算」等といった内容を、より質の高いものにするために「新しい公共」の理念を取り入れています。民間、大学、青少年団体、行政、企業、関係機関の皆様との連携・協働ができるよう力を結集し、より質の高い事業作りを目指していきます。

今回ご覧いただきます各種の事業は、地域の皆様や関係機関の皆様との連携・協働で改善を図り、よりよい体験活動になるように取り組んだものです。つまり自然の家が持っている教育機能と、民間や各種団体が持っている教育機能を統合して生まれた教育事業です。

また、私たちは開発したプログラムや、お願いできた指導者・ボランティア、指導方法などを、研修支援事業に生かし、学校や青少年団体の応援団として、子どもたちの自信に満ちた笑顔を引き出せるように努力してまいります。

ご支援・ご協力いただいております地域の皆様、ご協賛いただいております企業の皆様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

